

第 347 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 31 年 1 月 15 日 (火) 16:00～17:30
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix LIFE! LIFE! LIFE!
[放送日時] 平成 30 年 12 月 28 日 (金) 14:08～16:55
[出演者] kainatsu、わたなべだいすけ
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康
委員 山本りさ 委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
- [会社] 代表取締役社長兼会長 祐嶋繁一
専務取締役放送事業本部長 竹内照夫
放送事業本部副本部長 兼 編成制作部長 久保田克敏
編成制作部制作担当部長 寺田和史
編成制作部主任 安原明子

5. 事務局報告

- 来年度改編の件
- 中期経営計画の件
- ラジコプレミアム会員数の件

6. 番組審議

- [対象番組] K-mix LIFE! LIFE! LIFE!
[放送日時] 平成 30 年 12 月 28 日 (金) 14:08～16:55
[出演者] kainatsu、わたなべだいすけ
[番組内容] kai の LIFE、わたなべの LIFE、リスナーの LIFE。
その日生まれる” LIFE” をラジオで共有する 3 時間

[聴取・合評での主な意見]

加藤委員 圧倒的なライブ感が伝わる。わたなべのトーク力に kai の相槌力。良いコンビネーションだ。わたなべの「こなれ感」は、賛否両論かもしれないと感じる。

服部委員 函南のスタジオらしいライブ感。2 人の息は合っているが、わたなべの声の迫力が強すぎて、聴きづらい部分があった、特に山本食品のコーナーでは 3 人が一斉に喋っていて何を言っているのか分からない。施設の一般情報も欲しかった。現場のリスナーには大変楽しい放送回だろう。

山本委員 2人の掛け合いが良かった。リスナーとの関係性が出来ているとは思う一方、リスナーを「こいつ」と呼ぶのはどうなのか？わたなべは頭の回転が早い、それが山本食品コーナーでは社長の話を遮っている。全体的には面白いと思うが、わたなべの勢いを押さえるポイントも必要だと考える。

角田副委員長 山本食品コーナー、何を言っているのか全然わからなかった。ラジコ聴取だったら、とぼしてしまうのではないかな？番組が落ち着いていない。現場のファンは楽しいと思うが、ラジオ番組としては少ししんどいかも。勢いに任せ過ぎで、ラジオの本質的な面白さではない。

木宮委員長 函南での出張放送というライブ感が、難しい立ち位置となっている。どうしても、ラジオリスナーより現場を大切にってしまう。ライブ感が、良い面に作用しているのかどうか。今回は、聴いていて少し疲れた。また、年末に放送しているという歳時記的な「ライブ感」は乏しかった。「月一回」「函南」という特殊性をどう活用していくか、というのが今後の肝だと考える。

会社サイド 前回(第346回)では御代田の成長を評価頂く一方、番組コンセプトと放送時間のギャップ、またチャート番組の是非についてもご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 平成31年2月5日(火) 11:50~13:00を予定

以上

番組審議会委員長

木宮敬信